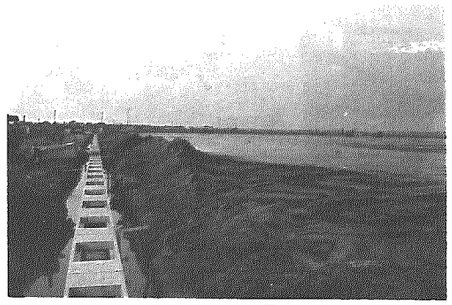
木津工業団地

進出企業の工場建設はじまる



順調に工事が進む木津工業団地造成工事現場

村の重点施策である木津工業団地造成工事（一五・八㌶）は、来春完成をめざし順調に進んでいますが、既に二十区画が完売し、進出企業による団地運営の円滑化と相互共済を目的とした団地連絡協議会もできて、安定操業への体制固めも進むなか、このほど団地第一号の工場建設がはじまりました。

今回建設着工した企業は桜橋紙工業㈱で、来年九月完成をめざし、移転操業を開始する予定です。工場規模は、敷地二九、五七七平方㍍、延べ床面積一二、二五六平方㍍の鉄骨造平屋建の工場及び事務所を建設。最新の生産機器を備えた工場で飛躍的な生産の伸びが見込まれています。

今後、引きつづき年度内に三企業の工場建設が予定され、平成二年度は進出企業の着工最盛期となる見込みで、早期操業に期待が寄せられています。

小林広次選挙管理委員長が内閣総理大臣表彰を受彰

内閣総理大臣表彰を受けた小林さん

選挙制度一〇〇周年を祝う記念式典が十一月二十四日、東京の日比谷公会堂で開かれ、小林広次選挙管理委員長が内閣総理大臣表彰を受けました。

国では、選挙制度一〇〇周年記念式典の挙行を機会に、多年民主政治の確立のために尽くし、顕著な功績をあげた選挙関係功労者をそれぞれ内閣総理大臣、自治大臣が表彰したもので、内閣総理大臣表彰には小林氏が新潟県下唯一の受彰となりました。

小林委員長は、昭和三十三年に選挙管理委員に就任、昭和四十三年からは選挙管理委員長に就任して現在に至っており、昭和六十年には自治大臣から表彰されています。

これまでの三十一年有余の間、豊かな経験と卓越した感覚で、村長選挙における記号式投票制度の採用や選挙公報発行条例の制定など常に先取り施策を手がけるなど、多年にわたる選挙の管理執行に精励され、選挙制度の研究及び普及等民主政治の確立に尽力された功績が認められたものです。

シンポジウム観光ことはじめ

観光のあり方探る

横越村の観光についてみんなで考えてみようと、シンポジウム「横越村観光ことはじめ」が、さる十月二十九日農村環境改善センターで開かれ、村の内外から約一八〇人が参加しました。

最初に、樋口新大工学部助教授から「博物館のある村の景観づくり」と題して、横越村のように年間五十万人もの観光客が訪れるユニークな博物館のある村は全国にも稀であり、このいいイメージを大切にしたい。観光の語源はクニの光を観るということであり、横越村のすばらしい光を村の内外に観せるべきである。こんな村に暮らしてみたいというロマンを横越村に求めて、村民一人ひとりが考えてもらえば、観光ことはじめも成功するし、いい村づくりも成功するという講演があり、続いてアトラクションで郷土芸能の棧俵神楽が披露されました。

このあと行われたパネルディスカッションでは、村内のパネラーからは「観光と言われても関心がないのが実態である」、「農業と観光は結びつきにくいのではないか」、「年間五十万人の観光客を村内商工業者で活用しきれていない現状だがなんとか利用したい」などの問題点が出され、「生活の流れと観光の流れを分けて考えるべき」、「平凡な農村の風景がこれからは観光に役立つのでは」、「村内にも文化財、人物、伝統文化、芸能などがあり観光とも結びつける可能性がある」などの貴重な提言がありました。

会場から「かつての博物館は貴重な文化財に触れることができる場であった」、「観光客には大変迷惑している。環境整備をしてから誘客すべきだ」、「村でも土産品として農産加工品をつくっては」など、活発な発言があり時間が足りなくなる程でした。

また、当日会場では〝横越の光〟を写した弓納持福夫さんの写真が展示され紹介されたほか、村の特産物の長芋や鮭など素材につくられた料理が用意され、横越の味試食会が参加者全員によって行われましたが、どの料理もなかなか好評でした。

シンポジウムの詳しい内容については、観光協会から後日お知らせする予定です。

＝北方文化博物館＝ 屋根裏ギャラリーのご案内

第2回　新潟墨青会水墨画展

飯塚正雄	石黒和夫
遠藤正義	大島浩
大矢清	小野塚謙太郎
鈴木文雄	高橋芳光哉
遠山光雄	中沢謙造
松尾吉信	宮越敏子
飯塚シイ	五十嵐精子
今田トシミ	勝田貞子
金子夏子	亀井卜子
清野きく子	三浦メ

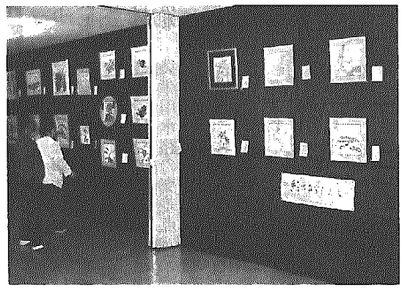
▶アイウエオ順　▶即売可

■期間　'89・11月21日～12月20日
■会場　屋根裏ギャラリー
■時間　9：00～16：30
※入館は無料です

《村文化祭》

芸術の秋を満喫

陶器のチャリティーも好評



すばらしい作品がならぶ

十一月三日から五日までの三日間、村公民館主催による文化祭が行われました。

これまで公民館で開催された絵画、拓本、表装教室などで腕を磨き製作された力作ぞろいの作品展や書道展、写真展、菊花展などのほか、老人福祉センターで生きがいと創造事業として行われている陶芸教室のみなさんの陶芸展と同時に、この日のために各自が思い思いに製作してきた陶器のチャリティーバザーも行われ、多彩な催しものとなりました。

出品されたいずれの作品も目を見張るものばかりで、訪れた人も芸術の秋を満喫していました。

菊花展では、愛好者によって丹精込めて育てられ見事な花を咲かせた一六九鉢が出品され、その出来栄えを競うとともに、訪れた人を楽しませていました。

菊花展成績結果は次のとおりです。

◎総合成績
▽一位阿部定雄　二位桜井由江　▽三位市村文雄

◎作品賞
▽村長賞　阿部定雄（三幹立厚物）　▽議長賞　阿部定雄（数立厚物）　▽教育委員長賞　遠藤ミヨイ（小菊）　▽公民館長賞　市村文雄（数立管物）　▽農業委員会長賞　桜井由江（競技花厚物）　▽農協組合長賞　伊藤実（三幹立管物）　▽商工会長賞　桜井由江（競技花管物）　▽特別賞　桜井実（福助厚物）　杉山八重（福助管物）　阿部ショ（一幹花壇）

◎競技花の部
厚物＝▽優等　桜井由江
管物＝▽優等　桜井由江

小杉地区コミュニティセンター

増築の多目的ホールが完成 広い会場でゆったりと敬老会

増築され広くなった会場で敬老会

六月から進めてきた、小杉コミュニティセンターの多目的ホール増築工事が十一月に完成し、五日には小杉学区敬老会が、広い会場でゆったりと行われました。

当センターは、昭和六十年に住みよい村づくり活動の拠点施設として建設され、地域住民の活発な活動が展開されていますが、多目的ホールが一五六平方㍍と狭く、スポーツ活動や大きな催しに不便をきたし増築が強く望まれていました。

今回の工事は、多目的ホールを三六四平方㍍に広げ新たにステージと控室を設けたもので、総工費は三、二五〇万円。今度はバレーボールや軽スポーツ、芸能発表や大集会ができるスペースが確保され、りっぱな施設となりました。

広々とした会場で行われた敬老会には、対象者一三四人のうち七四人のお年寄りが元気に出席され、心ずくしの折詰とお酒に舌づつみをうちながら、ステージに繰り広げられる婦人会などのアトラクションを、なごやかにゆったりとした気分で楽しんでいました。

陶友会 チャリティーの売上金を寄付

村長に寄付金を手渡す星成雄代表

生きがいと創造事業の陶芸教室のみなさんによる陶友会（代表、星成雄）では、村文化祭において、自分たちで製作した七十六点の陶器のチャリティーを行い、その売上金二五、六五〇円を社会福祉のためにと寄付されました。

国民年金保険料は、忘れずに納めましょう

将来国民年金を受けるためには、毎月きちんと保険料を納めておくことが大切です。納め忘れたままになっていますと保険料の額も大きくなり、何か月分も重なると納めにくくなります。

預金口座から納入している人は、残高不足のため振替不能になっている場合もありますので、いま一度お確めください。

そのままになっていますと年金が受けられなくなってしまうこともあります。

わずかな期間が未納だったため、老齢基礎年金や不幸にして障害者になった場合の障害基礎年金、遺族基礎年金が受けられないこともあります。国民年金は、あなたの老後の所得保障です。忘れずに保険料を納めましょう。

社会教育ガイド

12月の公民館事業

■婦人大学・家庭教育学級合同講座
期日12月13日(水)
午前の部　正月料理
講師　本間氏（本徳）
先着20名まで
参加費１人500円
午後の部　前垂れ紙の作成
参加費無料（カッター持参）

■高齢者大学
期日　12月19日(火)
午前の部　高齢者と税金
講師　新潟税務署広報官
午後の部　クラブ活動

俳句募集

▶句　題　冬木立、熟爛、雪囲
▶締切日　12月22日(金)
▶投稿方法
はがきまたは封書で6句以内紙上筆名の際も原稿末尾には本名、年齢、住所を明記
▶あて先　横越村公民館「文芸作品係」